会報 危険物

会　報　『危険物』　第８号
発　行　平成２６年1月３１日
(毎年1回　1月発行)

発行人　新潟県危険物安全協会
小千谷地区支会
支会長　米岡正平
事務局　小千谷市消防本部
予防課内

新年のご挨拶を申し上げます

新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

支会長　米岡正平

副支会長　渡辺憲生

副支会長　倉澤　晶

火災予防啓発事業への協賛（平成25年2月23日おぢや風船一揆「ぼこ」あげ）

あなたこそ　無事故を担う　司令塔

「平成２５年度　危険物安全標語」

年　頭　の　ご　挨　拶

新潟県危険物安全協会
小千谷地区支会
支会長　米 岡 正 平

平成２６年の新春を迎え、会員の皆様に謹んでお慶びを申し上げます。

また、当支会の事業運営につきましては、日頃より格別のご支援とご協力をいただき、ここに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は長嶋茂雄さんと松井秀喜さんの国民栄誉賞 W 受賞や富士山の世界文化遺産登録、２０２０年夏季オリンピック開催地が東京など明るい話題の一方、１年を通じて竜巻・豪雨・台風などによる自然災害が全国各地で発生いたしました。

そして、新潟空港で大韓航空機が滑走路をオーバーランする事故や福知山花火大会露店爆発事故、JR 北海道の貨物列車脱線事故や福岡市整形外科医院火災など、死傷者を出してしまう事故が数多く起きました。

このように全国的に事故災害の多い１年でございましたが、幸い当支会管内においては危険物及びその取扱い施設の事故は皆無に等しく年を越すことができました。これも一重に会員の皆様の危険物管理・保安確保・取り扱いの周知徹底に対する日頃からの絶え間ない努力の賜物と心より敬意を表する次第でございます。

しかしながら、昨年の事故災害を見てもわかるように人的要因によるものが未だ数多く見られ、また設備等の老朽化・点検不足によるものも発生してきておりますので、会員の皆様には尚一層の徹底管理をよろしくお願い申し上げます。

新しい年の出発にあたりまして、危険物施設等の安全対策・整備を推進し、自主保安体制を強化して、地域に貢献していかなければならないと思います。依然として大変厳しい経済状況ではございますが、これまで以上に当支会の結束を強め、事故防止・安全確保に努めていただき、今年１年が事故や災害のない年でありますようお祈り申し上げますとともに、会員の皆様の益々のご発展とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新　年　の　ご　挨　拶

小千谷市消防本部
消防長　大 塚 幸 夫
（小千谷地区支会　顧問）

平成２６年の新春を迎えるに当たり、会員並びにご家族の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申しあげます。また、平素から当市の消防行政に多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、平成２４年中の国内の危険物施設における事故件数は５７３件（火災１９８件、流出３７５件）と前年に比べて１２件減少しています。

しかし、事故件数はいまだ高い水準で推移しており、平成元年以降、事故が最も少なかった平成６年と比較しますと、危険物施設は減少しているにも関わらず、事故件数は約２倍に増加しています。

また、新潟県内における平成２４年中の事故件数は４０件（火災０件、漏洩及びその他４０件）と前年に比べて３件の増加となっております。

最近の火災事故発生原因については、維持管理や操作に当たっての不手際など、人的要因によるものが多くを占めていますが、物的要因によるものも増加の傾向にあることが指摘されています。また、流出事故発生原因については、物的要因によるもののうち、とくに腐食疲労等の経年劣化によるものが増加の傾向にあると指摘されています。

このため、消防庁では「平成２５年度危険物事故防止アクションプラン」を策定し、官民一体となった事故防止対策の自主的、積極的な取組を推進しています。

ところで、小千谷市消防本部管内には２３３の危険物施設がありますが、今までに大きな事故は発生しておりません。このことは、小千谷市内及び長岡市川口地域の８３事業所が加盟されている危険物安全協会小千谷地区支会の事業展開の賜物と深く感謝を申し上げます。

今後も引き続き、会員の皆様には、危険物施設の異常を見逃さない日常点検・定期点検の確実な実施、また、危険物に係る作業に従事される従業員の皆さんへの保安教育の充実、そして、経年劣化し不具合の発生が疑われる部位は速やかに補修・取替え等の適切な措置を講ずるなど、事故防止、事故ゼロを目指した保安対策の徹底をお願いいたします。

結びに、会員の皆様のますますのご健勝とご発展、あわせて本年の無事故と無災害、を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

地 区 支 会 表 彰 ・ 県 協 会 表 彰

○　地区支会表彰

平成２５年４月２４日（水）に開催された平成２５年度の総会後、引き続き優良会員表彰式が挙行されました。１０年以上の永きにわたり危険物の取り扱いに携わり、法令遵守と無事故無違反を達成された功績により次の皆様が表彰されました。受賞された皆様には、支会長から賞状と記念品が贈られました。

また永年に渡り当地区の監事として大変なご尽力をいただきました鈴木正士（ユキワ精工）様が退任されることに伴い支会長から賞状と記念品が贈られました。

☆　１０年表彰受賞者

佐藤　　忍　様（阿部幸製菓㈱）

☆　２０年表彰受賞者

阿部　　浩　様（米岡石油㈱）

大平　昭則　様（㈱第一測範製作所）

☆　功績表彰受賞者

鈴木　正士　様（ユキワ精工㈱）

上段左から渡辺副支会長、米岡支会長、倉澤副支会長
下段左から佐藤様、大平様、鈴木様

○　県協会表彰

平成２５年５月２２日（水）新潟市において、平成２５年度優良会員表彰式が挙行され、当地区支会から以下の２事業所が表彰されました。

☆　優良事業所表彰

株式会社　日乃出輸送　様

株式会社　新潟ケンベイ小千谷倉庫　様

株式会社　日乃出輸送様、株式会社　新潟ケンベイ様

地　区　支　会　特　別　講　習　会

当地区支会では、「危険物取扱者試験受験前特別講習会」を平成２５年８月９日（金）に小千谷市消防本部において開催いたしました。当日は１３名の方が受講され、消防本部予防課危険物係の職員４名が講師を務めました。

午前中は、試験内容に基づいた内容で危険物に関する法令、基礎的な物理・化学及び危険物の性質並びにその消火方法等の項目を中心に講義を行い、午後は午前の講義内容を踏まえた模擬テストを実施しました。

県協会主催の危険物取扱者保安講習会

平成２５年１０月２９日（火）サンラックおぢやにおいて、県協会の主催による危険物取扱者保安講習会が開催され、８７名の方が受講されました。

危険物の取り扱い作業に従事する危険物取扱者（免状保有者）は、以下のとおり保安講習の定期的な受講が義務となっておりますので、ご自身の受講期限を確認いただき、必ず期限内に受講されますようお願いいたします。

なお、平成２６年度の小千谷開催予定日は１０月３０日（木）となっております。

【保安講習受講サイクル】

危険物取扱作業に従事している者

⇒　受講後最初の４月１日を起算日として３年以内に受講。

新たに危険物取扱作業に従事する者で過去2年以内に免状の交付または講習を受けている者

⇒　受講後最初の４月１日を起算日として３年以内に受講。

新たに危険物取扱作業に従事する者で免状の交付または講習を受けてから2年を経過している者

⇒　これまでとおり、従事することとなった日から１年以内に受講。

【小千谷開催での危険物保安講習会】

【危険物保安講習会テキスト】

火 災 予 防 運 動 へ の 参 加

毎年、全国一斉に春・秋の火災予防運動が実施されており、地区支会長が春の運動期間中に開催される「１日消防署長」のイベント（小千谷市消防本部主催）に参加しました。

また秋の火災予防運動期間中には「消防フェスティバル」に参加し火災等予防啓発活動にご尽力いただきました。

【春の火災予防運動　はしご車放水】

【秋の火災予防運動　子どもたちの遊戯】

小千谷市消防本部の移動タンク貯蔵所等立入検査

平成２５年１１月５日（火）国道１１７号線塩殿地内において、警察署・消防署合同による移動タンク貯蔵所等の立入検査が実施されました。

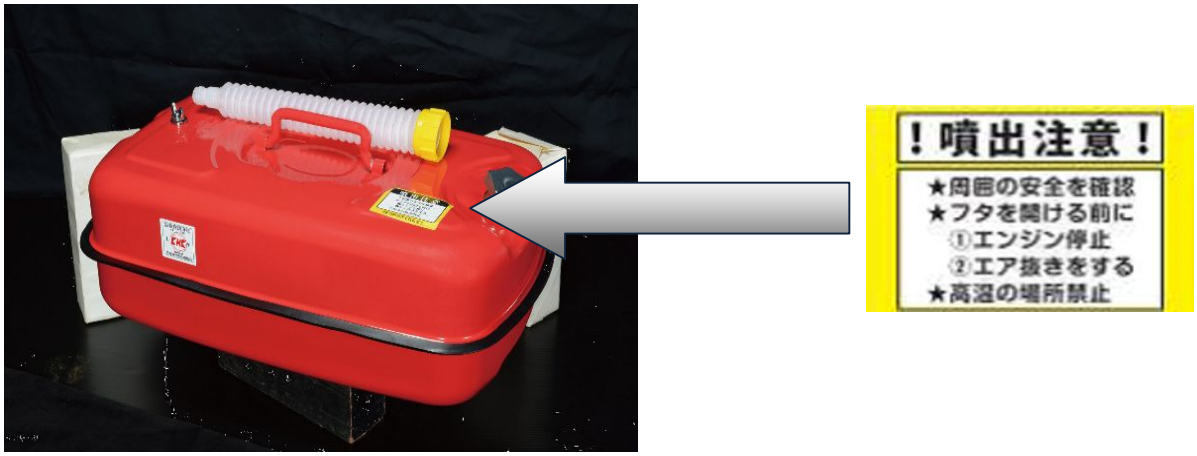
当日は、タンクローリー車に対して立入検査を実施し、法令を遵守し適正に維持管理さされているか指導を行いました。

【移動タンク貯蔵所立入検査の様子】

ガソリンを正しく使うためのポイント

１．危険性について
・ガソリンは、気温が－40℃でも気化し、小さな火源でも、離れていても引火し爆発的に燃焼する物質です。

２．容器について
・灯油用ポリエチレン容器にガソリンを入れないでください。
・ガソリンを入れる携行缶は、消防法令により規制されており、消防法令に適合した金属の容器を使用してください。
・ガソリンを入れる容器は消防法令により一定の強度のある材質を使用することと容量が制限されています。



３．噴出事故防止について
・携行缶を置くと、蓋の開閉時にガソリンの蒸気が勢いよく噴出し事故につながる場合があります。温度変化の少ない安全な場所で使用し、蓋の開閉時には必ずガス抜きをしましょう。

４．購入について
・セルフスタンドでは、利用者が自らガソリンを携行缶に入れることはできません。
・消防法令に適合した容器でガソリンスタンドにて購入してください。

５．保管について
・ガソリンを携行缶に入れて、長期間、または不必要に保管することは極力避けてください。
・ガソリンは揮発性が極めて高く火災が発生すると爆発的に広がるので、直射日光や高温になる場所に保管しないでください。

６．取扱いについて
・使用時には取扱説明書をよく読み適正な取扱いをしてください。
・ガソリンが漏洩しないよう、破損や変形した携行缶は使用せず、しっかり蓋を閉めましょう。

平成２４年中の危険物に係る事故の概要

1　概要

全国の危険物施設における火災及び流出事故件数は、平成 19 年をピークに 2 年連続で減少していましたが、平成 22 年、23 年と増加し 24 年中においては若干、減少しています。平成 24 年中（平成 24 年 1 月 1 日～12 月 31 日）に発生した火災事故は 198 件（前年 189 件）、流出事故は 375 件（前年 396 件）で合計 573 件となっており、前年から 12 件減少しています。

一方、無許可施設、危険物運搬中等の危険物施設以外での事故は、25 件と前年から 4 件減少しており、その内訳は火災事故が 12 件、流出事故は 13 件となっています。

これらの危険物施設による死傷者は、死者 4 人、負傷者 129 人、火災 1 件あたりの損害額は１３６３万円となっています。

県内の危険物施設における事故発生件数は、流出事故 30 件、その他の事故 10 件で、総事故件数は前年から 3 件増加しています。（下のグラフのとおり。）

2　火災事故

製造所等別にみる火災事故の発生件数は、一般取扱所が 128 件で最も多く、次いで、給油取扱所が 29 件、製造所が 27 件の順となっています。

発生原因については、人的要因が最も高く、物的要因、維持管理不十分、操作確認不十分及び操作未実施が上位を占めています。

また、主な着火原因は、静電気火花が 17.7%を占め最も高くなっており、高温表面熱、溶接・溶断等火花が上位となっています。

なお、県内の火災事故は 0 件となっています。

3　流出事故

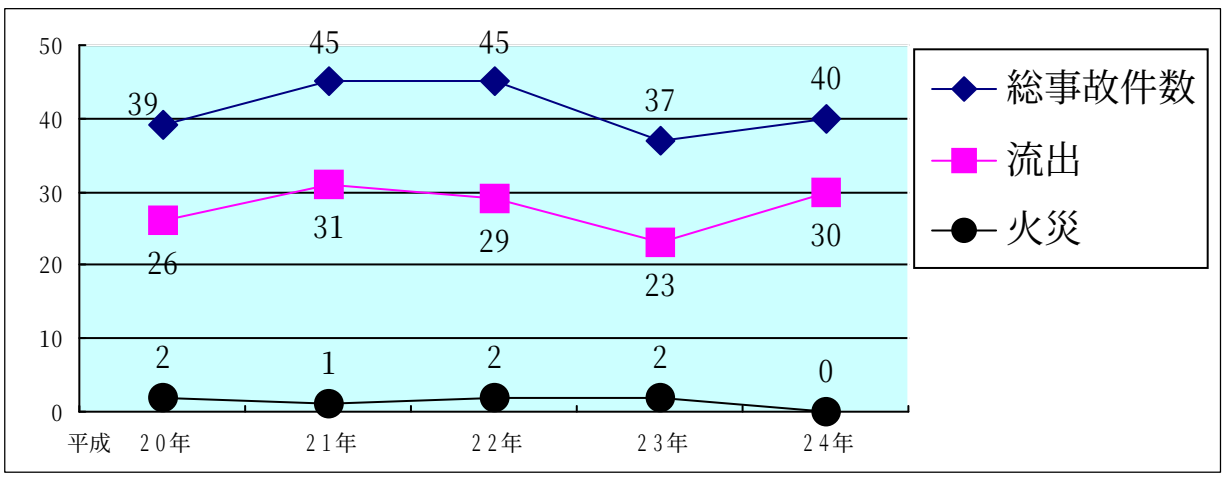
製造所等別にみる流出事故の発生件数は、一般取扱所が 96 件で最も多く、次いで屋外タンク貯蔵所が 81 件、給油取扱所が 59 件の順となっています。

危険物施設における流出事故の流出物質割合を平成 20 年～24 年の 5 年間でみると品名別では第 2 石油類が最も多くなっています。

発生原因については、物的要因が最も高く、腐食等劣化、人的要因、操作確認不十分が上位を占めています。

県内の平成 20 年～24 年の 5 年間での流出事故件数は、一般取扱所が 50 件で最も多く、屋外タンク貯蔵所が 22 件、給油取扱所が 17 件の順となっています。5 年間での最大の発生要因は、物的要因が 87 件、次いで腐食等劣化で 64 件となっています。

＊新潟県における危険物施設事故の推移＊



お　知　ら　せ

◎　平成２６年度 危険物取扱者試験乙種第４類受験準備講習計画（案）

(公財)新潟県危険物安全協会

講　習　日	講　　習　　会　　場	定　員	申込受付期間
7月7日(月)～　8日(火)	十日町地場産センター クロス１０	80名	6月6日(金) ～　6月30日(月)
7月29日(火)	長岡新産管理センター	80名	6月 27日(金) ～　7月22日(火)
10月14日(火)～15日(水)	長岡新産管理センター	80名	9月 12日(金) ～　10月7日(火)
1月29日(木)～30日(金)	長岡新産管理センター	80名	12月２６日(金) ～　1月27日(火)

※１　講習時間
【２日間講習の場合】
１日目　午後１時３０分～午後４時３０分
２日目　午前９時３０分～午後４時３０分
【１日間講習の場合】
午前９時００分～午後６時００分
※２　近隣で実施される講習会のみを掲載。

◎　平成２６年度 危険物取扱者試験実施計画（案）

(一財)消防試験センター 新潟県支部

試　験　日	受　付　期　間		試験の種類	試験実施地
	電　子　申　請	書　面　申　請		
6月 7日(土)	4月 18日(金) ～　5月6日(火)	4月 21日(月) ～　5月9日(金)	全　種　類	新潟市、長岡市、上越市三条市、佐渡市
8月30日(土)	7月11日(金) ～　7月27日(日)	7月14日(月) ～　7月30日(水)	全　種　類	新潟市、長岡市 上越市、新発田市
11月23日(日)	10月3日(金) ～10月19日(日)	10月6日(月) ～ 10月22日(水)	全　種　類	新潟市、長岡市 上越市
3月 7日(土)	1月10日(土) ～ 1月25日(日)	1月13日(火) ～　1月28日(水)	全　種　類	新潟市、長岡市 上越市

※　複数受験（同一日で同一試験時間帯の受験）
・既に乙種の免状を持っている方は、乙種の既得免状以外の３種類までを同時受験できます。

◎　平成２６年度 危険物取扱者保安講習計画（案）

（公財）新潟県危険物安全協会

講　習　日	講　習　会　場	講習種別		定　員	受講申請 受付期間
		一　般 (その他)	給　油 取扱所		
6 月 27 日(金)	長岡新産管理センター	午　前		108 名	5 月 23 日(金) ～ 6 月 6 日(金)
		午　後		108 名	
7 月 17 日(木)	十日町地場産センター クロス１０	午　後		150 名	6 月 12 日(木) ～ 6 月 26 日(木)
9 月　2 日(火)	長岡新産管理センター	午　前	午　後	各 108 名	7 月 28 日(月) ～ 8 月 11 日(月)
10 月 30 日(木)	小千谷市総合福祉センター サンラックおぢや	午　後		150 名	9 月 25 日(木) ～10 月 9 日(木)
11 月 13 日(木)	長岡新産管理センター	午　前		108 名	10 月 9 日(木) ～10 月 23 日(木)
		午　後		108 名	

※１　受付及び講習時間

【午前の講習】

受付時間：９時００分～９時３０分　　講習時間：９時３０分～１２時３０分

【午後の講習】

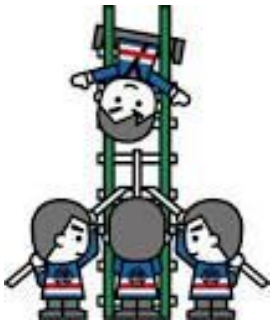
受付時間：１時００分～１時３０分　　講習時間：１時３０分～４時３０分

※２　近隣で実施される講習会のみを掲載。

◎　その他

・　支会優良会員表彰者の内申を２月末まで受け付けておりますので、勤続１０年以上、２０年以上の方について漏れなく申請して下さい。

・　当会報のカラー版は、小千谷市消防本部のホームページ内にある「新潟県危険物安全協会小千谷地区支会」のサイトにアップしてあります。



会 報 『 危 険 物 』 第 ８ 号
編　集　　新潟県危険物安全協会
小千谷地区支会　事務局
小千谷市城内３丁目１番９号
小千谷市消防本部予防課内
ＴＥＬ（０２５８）８３-０２３８（直通）
ＦＡＸ（０２５８）８２-０２０９
E-Mail syobou-yobou@city.ojiya.niigata.jp